

総合戦略施策評価シート（平成28年度実績）

基本目標	安心なくらしを守り、住み続けられる地域をつくる
施策	誰もが健康でいきいきと暮らせる環境づくり
概要	高齢者が地域の中でいきいきと暮らせる生活環境づくりを進めるとともに、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」を構築し、推進を図る。 また、誰もがいくつになっても地域で健やかに自立した生活を送ることができるよう、気軽に運動ができる環境づくりを進めるとともに、未病に対する取り組みを推進し、町民の健康・体力増進を図る。

数値目標

指標名	基準値	目標値
住み続けたいと思う町民の割合	76.50% (平成27年度アンケート)	79.5% (平成31年度アンケート)

重要業績評価指標(KPI)

指標名	実績の推移					目標値	備考
	基準値	H28	H29	H30	H31		
健康寿命（国保データベース）	男：65.9歳 女：67.1歳	男：65.9歳 女：67.1歳				男：67.0歳 女：68.0歳	
運動習慣がある人の割合	39.5% H28アンケート	38.1% H29アンケート				50.0%以上	

【説明欄】(進捗状況・数値で表せない指標について)

総合戦略プロジェクト評価

プロジェクト名	総合評価
高齢者がいきいきと暮らせる生活支援プロジェクト	Ⅱ
みんなで健康づくりプロジェクト	Ⅱ
成果や課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> 健康寿命を延ばすための活動の一つである「地域の通い場」が平成29年度に始まることに伴い、準備を進めた。 町民の声を(アンケートを実施)反映した高齢者福祉計画の改定につなげる。 がん検診等の受診率の向上 子どもからお年寄りまで、幅広い世代の健康づくりに取り組んだ。

該当評価にレを入れてください

【参考】(総合戦略プロジェクト評価の評価指標／一部抜粋)
 I：プロジェクトとして良好であるため、引き続き推進する
 II：一部、事業を改善する必要がある
 III：プロジェクト全体を見直す必要がある
 IV：プロジェクトを休止・廃止する

総合評価	<input type="checkbox"/>	1:基本目標の達成に向け、講ずべき施策として良好であるため、引き続き推進する
	<input checked="" type="checkbox"/>	2:施策の進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、プロジェクトを改善する必要がある
	<input type="checkbox"/>	3:施策全体を見直す必要がある
	<input type="checkbox"/>	4:施策を休止・廃止する
	<input type="checkbox"/>	5:その他
	説明	地域支援事業の実施および計画策定に向け、検討・準備を行ってきた。また、福祉サービスについても妥当性、有効性などを考慮し29年度に向け見直し検討を行い、必要なサービスや事業は継続、改善に向け取り組んでいる。 病気の早期発見、早期治療や重症化を防ぐためにも、がん検診・特定健診は有効であることから、未受診者への受診勧奨に力を入れて取り組む。

今後の方向性

来年度に向けての課題や意見等	地域の通いの場を中心に介護予防だけでなく、地域の困りごとを解決できる(生活支援)よう、地域の理解を得る。 お互いさま推進協議会(町域の協議体)と一色小学校区福祉協議会(地域の協議体)との連携を図り、地域共生社会へ向けての動きを明らかにし、他の小学校区でも2層の協議体の必要性を理解してもらう。 在宅医療介護連携事業の推進に努める。 未病センターを設置し、町民の健康や運動に関する意識の向上に努める。 併せて、県、民間事業者、県内自治体が連携して実施している未病サミットに参加し、イベントなどを通じて普及啓発を図ることで、町民一人ひとりの主体的な健康の維持・増進や健康意識の改革を図る。
----------------	--

最終評価者 [庁内評価委員会]

<input type="checkbox"/>	1:基本目標の達成に向け、講ずべき施策として良好であるため、引き続き推進する
<input checked="" type="checkbox"/>	2:施策の進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、プロジェクトを改善する必要がある
<input type="checkbox"/>	3:施策を構成するプロジェクトを含め、施策全体を見直す必要がある
<input type="checkbox"/>	4:施策を休止・廃止する
<input type="checkbox"/>	5:その他[]
意見等	安心な暮らしを守り、住み続けられる地域を実現するために、誰もが地域の中でいきいきと暮らせる環境づくりは重要な施策であることから各種取り組みを推進したが、KPIの進捗としてはいずれも十分とは言えず、取り組みの強化や事業の見直しを図る必要がある。 今後さらに施策を推進するために、関係機関や町民との連携を深め、地域資源や特性を生かした支援のネットワークの充実を図る。併せて、健康寿命の延伸に向け、健康増進への意識や運動継続への意欲の向上を図るとともに、子どもからお年寄りまで、誰でも気軽に健康づくりに取り組むことができる環境の充実を図る。